

学校だより

令和元年 5月16日



樹人舎

脊振中学校 No. 3

校長 三上 智一

＜守ろうルール、高めよう交通マナー＞

4月22日(月)、ランチルームで交通安全教室を行いました。



神埼警察署の北原康宏さんと脊振駐在所の野中和敏さんを講師にお招きしました。

教室では、佐賀県の事故の現状や自転車での事故の状況等を詳しく説明していただき、特に、自転車と歩行者が通行するときに注意しなければならないポイントを教えてもらいました。

自転車事故の被害者の立場だけでなく、加害者の立場にならないために、自転車は車両であるということ認識の大切さを話されました。生徒たちも真剣な表情で講師の先生方の話に耳を傾けていました。

本校の生徒は、普段は自転車に乗ることは少ないのですが、高校に進学した時には日々の生活で利用することになります。今回学んだことを、将来の生活に活かしてほしいと思います。

＜脊振を発信、起業家体験学習＞

本校は平成21年度からNPO法人鳳雛塾(ほうすうじゅく)の支援を受け、3年生の総合的な学習の一環として「起業家教育」に取り組んでいます。

これは、会社を立ち上げようとする人(起業家)を体験学習して、生徒にチャレンジ精神や創造性、問題解決能力、コミュニケーション力など、これからの社会で「生きる力」を身につけることを目的にしています。

今年度のテーマは、「脊振再発見!ふるさとの“よさ”を祭りでアピール!」

さっそく、5月9日(木)にNPO法人鳳雛塾(ほ

うすうじゅく)の大島清美さんと川崎雅樹さん、松尾憲道さんの3名がオリエンテーションに協力してくださいました。



これから学習をかさね、8月18日の脊振町わんぱくまつり当日に販売体験活動を行います。

脊振支所をはじめ地域のみなさんや事業所のみなさん、保護者のみなさん、ご協力をお願いします。

＜あいさつ運動、地域に見守られ!＞

5月8日(水)、神崎市商工会青年部の子ども見守り隊のみなさんが、校門にのぼりを持って立ち、あいさつ運動をされました。



お話を聞きますと、毎月市内の小中学校であいさつ運動をされ、子どもの健全育成のための活動も行い、よりよいまちづくりにつとめているそうです。

神崎市商工会青年部のみなさんに、感謝します。

＜脊振を美しく、VS登山の事始め＞

明日、5月17日(金)は脊振山への全校登山です。この登山は、新入生の歓迎をかねたものです。

現在のようにボランティア活動を行うようになったのは26年前の平成6年4月13日(土)のこと。脊振の自然を自分たちで守ろうと、当時3年生の森崎政喜さんと石松輝夫さんの二人が提案して行われることになりました。

くわしくは、裏面の当時の学校便りをご覧ください。(26年前に牟田教頭先生が作成。)

みなさんも何か提案しませんか?